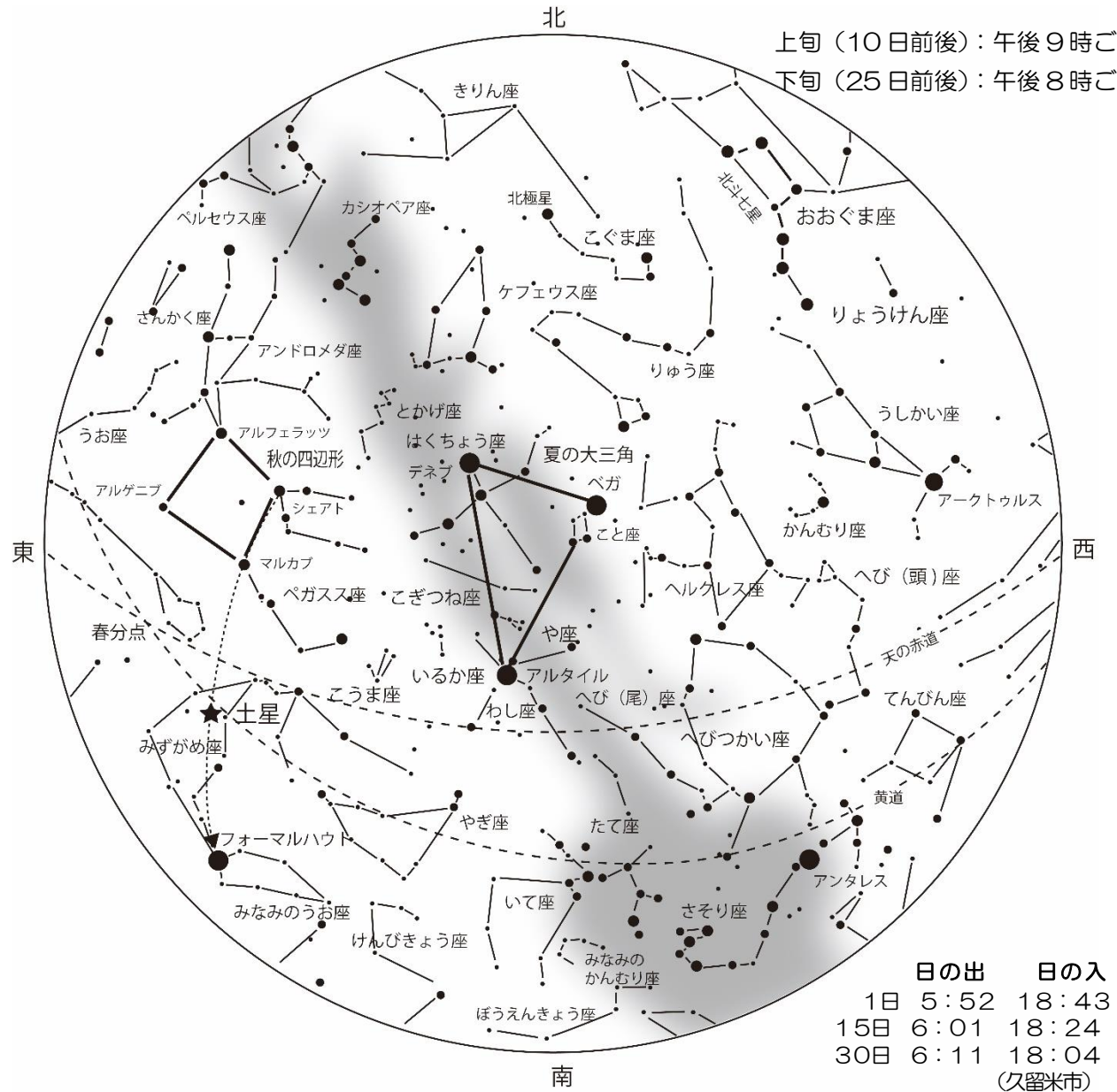


令和6年 9月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★9月の星空案内

9月に入り、朝晩は少しだけ過ごしやすくなってきました。夏の終わりを感ぜられるようになってきましたが、夜空にはまだまだ夏の星座たちが見えています。上図の時間帯では、頭の真上あたりで明るく輝く3つの1等星を結んでできる『夏の大三角』を目印に、夏の星座を探してみましょう。夏の大三角をつくる星のうち、最も明るい星はこと座のベガです。こと座はベガとすぐそばにある4つの星でつくる小さな四角形の星の並びが目印です。ベガから南の方へ少し下ると、わし座のアルタイルを見つけることができます。わし座はアルタイルと両脇にある2つの星の並びが目印です。また、ベガから東の方へ目線を移すとはくちょう座のデネブを見つけることができます。はくちょう座はデネブから十字に並んだ星の並びが目印です。

東の空を見ると秋の星座が見え始めています。秋の星座探しの案内役となるのは『秋の四辺形』と呼ばれる四角形の星の並びです。秋の四辺形はペガサス座の一部です。秋の四辺形を形づくる2つの星、シェアトとマルカブをつないだ線を地平線の方へ伸ばしていくとみなみのうお座の1等星フォーマルハウトを見つけることができます。また、今年はマルカブとフォーマルハウトの間に土星も輝いています。

9月の夜空では、夏と秋の星座探しを楽しみながら、土星も探してみたいはいかがでしょうか。

【 見ごろの惑星 】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

水星(1.1等前後)	: しし座→おとめ座	日の出前、東の空に輝く 中旬以降は高度を下げるため、観望に適さない。
☆金星(-3.9等前後)	: おとめ座→てんびん座	日の入り後、西の低空で輝く。
☆火星(0.6等前後)	: おうし座→ふたご座	日の出前、東の空高いところで輝く。
☆木星(-2.4等前後)	: おうし座付近	日の出前、南東から南の空高いところで輝く。
☆土星(0.6等前後)	: みずがめ座付近	真夜中、南から南西の空で輝く。

注目の天文現象(9月) 月と3惑星の共演 ～月・土星・木星・火星を観察しよう～

今月は9月8日に衝となる土星に注目してみましょう。衝とは太陽系の天体が地球から見て太陽とちょうど反対側になる瞬間のことです。衝の頃の土星は、日の入り頃に東の空から昇ってきて真夜中に南中し、日の出頃に西の空に沈むので、一晩中見ることができます。衝の頃の土星は、0.6等の明るさがあり、周囲に明るい星も少ない秋の星座の領域にあるので、見つけやすいです。ぜひ探してみてください。また、土星の環は小さな望遠鏡でも確認できます。機会があれば望遠鏡で眺めてはいかがでしょうか。

そして、17日の中秋の名月では、月と土星が最接近します。満月に近い月はとても明るいので、土星は少し見えづらいかもかもしれませんが、お月見では土星も一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか。さらに、18日未明になると東の空から木星と火星も昇ってきます。夜空には明け方まで土星、木星、火星の3つの惑星が見えていますので、ぜひ観察してみてください。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
3	火	● 新月 (10:56)	17	火	中秋の名月 (十五夜)
5	木	水星が西方最大離角	18	水	○ 満月 (11:34)
8	日	土星が衝	22	日	秋分の日/秋分 (太陽黄経 180度)
11	水	☾ 上弦 (15:06)	25	水	☾ 下弦 (03:50)